

# 児童発達支援センター豊橋市立高山学園

児童発達支援センター豊橋市立高山学園では、在籍する園児を支援する「児童発達支援」と、地域の児童を支援する「障害児相談支援」の事業を実施しています。



## 《児童発達支援》

高山学園は、人との関わりなどが苦手な子どもたちやことばや運動の発達がゆっくりな子どもたちが、学園のバスで通園し療育を受けるところです。一人一人のお子さんの発達や状況を把握し、どのような支援が必要か保護者と職員が一緒に考えていきます。安心できる環境の下、心地よい人との関わりや楽しい経験を重ねる中で、お子さんの育ちを支援していきます。



## 《高山学園の理念》

安心できる環境の下、心地よい人との関わりや楽しい経験を通して生きる楽しさと自信を身につけるよう保護者や地域の方と共に考え育ち合う。

## 《子ども像》

生きる力を十分発揮できる子ども

**豊橋市多米町字野中152番地**

TEL (0532) 61-1019 / FAX (0532) 64-1309

## 《療育目標》

- (1) 発達の基礎となる健康な身体をつくります。  
 基本的な生活リズムを整えながら、発達に応じた遊びや運動を通して、感覚機能や運動機能を伸ばし、病気に負けない丈夫な身体をつくります。
- (2) 楽しい遊びを通して、情緒の安定を図ります。  
 好きな遊びを見つけ、それを基に遊びを広げ、身体を動かすこと、物と関わるのが楽しい気持ちを育てます。
- (3) 人間関係の基礎となる社会性を身につけます。  
 安心できる大人との関わりを土台として、大人や友だちとの共感関係を広げ、人と関わることの楽しさを知らせていきます。
- (4) 豊かな感性をもち、安心して自分の思いを伝えようとする気持ちを育てます。  
 “もっとやりたい”と思えるような経験を重ねる中で、自分の要求を持ち、視線、表情、身ぶり、ことばなどで伝えようとする気持ちを育てます。

## 《園の生活》

| 学 園 の 一 日 |   |
|-----------|---|
| 午前        | 個別遊び (6月～2月 月1回)<br>学園バスで園到着<br>身支度 排泄<br>朝の会<br>午前中の活動<br>排泄 手洗い<br>給食<br>歯みがき |
| 午後        | あそび<br>午後の活動<br>※プール遊び期間中は、お昼寝をします。<br>おやつ<br>帰りの会<br>降園                        |



## 《主な年間行事》

|     |                         |
|-----|-------------------------|
| 4月  | 入園式・新入園児親子通園            |
| 5月  | 親子遠足                    |
| 6月  | 療育参観・プール開き              |
| 7月  | 七夕会                     |
| 9月  | プール納め<br>まごとあそぼうデー①     |
| 10月 | 運動会                     |
| 11月 | 親子遠足・焼き芋会<br>まごとあそぼうデー② |
| 12月 | クリスマス療育参観               |
| 1月  |                         |
| 2月  | 豆まき会                    |
| 3月  | ひなまつり会・お別れ遠足<br>卒園式     |

その他：家庭訪問・個別遊び・個別懇談会  
 誕生会・避難訓練 など

## 《支援内容》

発達段階を把握し、保護者の意向を取り入れた個別支援計画に沿った支援をしていきます。

### ◎給食・おやつ

嗜好や発達状況を考慮した食事やおやつを提供しながら、少しずつ嗜好の幅を広げたり、食事のマナーを知らせていきます。

### ◎排泄・着脱

- ・排泄の感覚やチェック表をつけながら排泄の自立に向けて支援します。
- ・衣服の着脱では、毎日の繰り返しの中でできることから少しずつ支援をしていきます。

### ◎戸外遊び

学園周辺の自然を生かし、目的に合わせて園庭遊び、散歩、山登りなどを楽しみながら身体づくりをします。

### ◎音楽遊び

手遊び・リトミック・歌遊び・楽器遊び・鑑賞など、様々な音楽的経験を楽しみます。



### ◎運動遊び

- ・歩く・走る・跳ぶ・またぐ・くぐるなどの基本的な動きを身に付けます。
- ・運動器具や用具を使用し遊びを通して様々な感覚を意識できるように運動の幅を広げていきます。

### ◎造形遊び

身近にある様々な素材を使って遊び、視覚・触覚など様々な感覚を刺激しながら、好奇心・想像力・感受性などを育てていきます。

### ◎感覚遊び

遊びを通して五感に働きかけ感覚の偏りに対する受け入れの幅を広げ、心身の発達を育てます。



## 【家庭との連携】

園日より、連絡帳、入園時親子通園、家庭訪問、個人懇談、療育参観、個別遊びなどにより、お子さんの発達と学園の療育の共通理解のもとに家庭と園が一体となり、子どもの育ちを援助していきます。

## 【地域との連携】

- ・医療機関や学校、保育園、事業所、行政機関などとの連携を大切にしています。
- ・こども発達センターの障害児等療育支援事業巡回相談を依頼し、専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）のアドバイスを活かしながら、一人一人にあった支援を充実させていきます。
- ・卒園後の進路先と子ども達の様子や関わり方などについて情報共有することで切れ目ない支援の継続をしていきます。

### ★牛川東保育園との交流

保育園の園庭や室内で遊ばせてもらいます。交流を通して友だちと関わる楽しさや遊びの興味や関心を広げます。

### ★つつじ荘（総合老人ホーム）との交流

好きな歌を歌ったり、玩具で遊びながら、老人の方と交流する中で社会性を養います。



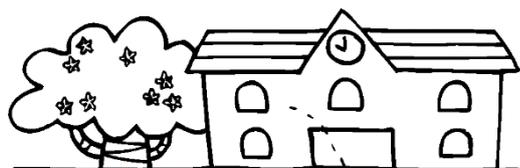
### ★園外療育に出掛けます。

園バスに乗って園外に出向き、季節感のある療育を取り入れたり、様々な体験をすることにより、遊びの幅を広げます。

あいトピア（おもちゃ図書館）  
幸公園 赤岩寺 ヒカイ公園 等

## 《高山学園の沿革》

- ◇昭和 35 年 5 月 開所（飯村町高山）
- ◇昭和 46 年 4 月 現住所に移転
- ◇平成 25 年 4 月 法改正に伴い児童発達支援センターとなる
- ◇平成 26 年 4 月 新園舎完成
- ◇平成 26 年 6 月 相談支援事業を開始する



## 《施設の概要》

- ◇施設種別 福祉型児童発達支援センター
- ◇定員 40 人
- ◇規模 敷地面積 5,804.55 m<sup>2</sup>  
延床面積 995.35 m<sup>2</sup>
- ◇職員 園長（施設管理者兼務）1 名  
療育主任（児童発達支援管理責任者）1 名  
相談支援専門員 2 名  
児童指導員 2 名  
保育士 15 名  
療育補助 1 名  
調理員 2 名

## 《入園について》

### ◇見学・入園に関する相談

見学や入園に関する相談は、随時受け付けます。電話 61-1019 までご連絡ください。

### ◇入園の手続き

入園には、通所受給者証が必要です。高山学園、または豊橋市役所 障害福祉課（東館 1 F 12 番窓口）電話 51-2347 にご相談ください。

### ◇利用料

幼保無償化により、食事の提供に要する費用のみをお支払いいただきます。

